

## 災害に関わる海老名3者定例会 2017年6月の報告

文責 福田博（海老名災ボラ）

開催日時：平成29年6月16日（金）9時30分～10時45分

開催場所：海老名市総合福祉会館

出席者：市危機管理課：山口雄太、市社会福祉協議会：中島敦、海老名災ボラ：橋本賢司、福田博

（1）海老名災ボラから市社協・市危機管理課へ 海老名災ボラの年間事業計画の説明と協力要請

① 市民向け「防災減災・災害対応訓練」主催：海老名災ボラ、2017年9月24日（日）実施  
市社協に、総合福祉会館・訓練場所の確保、PR活動（「タウンニュース」への掲載）を要請した。  
危機管理課には、「広報えびな」への掲載を要望した（原稿締め切りは7月〇日）。

② 防災に関わる自治会・自主防災組織との連携・協力について

サンパルク650自治会が7月22日（土）に実施する防災・減災体験型訓練について、海老名災ボラが支援・協力することを説明した。

これに関連して危機管理課より、毎年10月1日の前後に、市内の自治会（59）が市内の避難所（32か所）毎に、関係自治会＋市担当職員＋学校関係者などが集まって避難所開設訓練を実施していること、取り組み方は、自治会によって違いがあることなど、市内自治会の状況を概説した。

③ 市内の小学校での「福祉教室」について：東柏ヶ谷小学校で6月28日に実施

災ボラは今年度も「防災ポーチの使い方」を提案していたが、社協に東柏ヶ谷小学校から連絡があり、同校1年生（73名）に対して、6月28日（水）10時40分～11時25分に実施することになった。

④ 市内の小学校での「えびなっ子」スクールについて：現在のところ、応募する小学校はない

災ボラは、「えびなっ子スクール実行委員会」に例年通り「ブルーシート」を利用した三角テントの作り方を提案していたが、今年はどこかの小学校からも要請はなかった。今後、災ボラとして、多様なメニューを提案する必要性を痛感している。

上記③④に関連して市教育委員会（小中学校）が「どのような福祉・防災教育を望んでいるのか」を知りたいという意見が災ボラと社協から出された。教育委員会との連絡・調整を危機管理課に要望した。

（2）危機管理課から海老名災ボラへ 情報交換と協力要請

① 平成29～30年度の地域防災会議の審議委員の推薦依頼：市⇒災ボラへ

平成29年度に海老名市地域防災計画を修正することになった。これを審議する委員会の委員を海老名災ボラからも出して欲しいという要請があった。「女性の審議委員を増やしたい」という意向が市にあったので、平成27～28年度の委員として女性（元災ボラ副代表の松本愛子さん）を推薦した。今回も女性の委員（任期は29～30年度）を出して欲しいとの要望があった。

② 平成30年秋の神奈川県市合同防災訓練（ビッグレスキュー）の会場は海老名市に決定

平成30年秋の神奈川県市合同防災訓練（ビッグレスキュー）の会場が海老名市に決定したことが報告された（平成29年秋の会場は小田原市）。毎年、この県市合同防災訓練と連携した形で、神奈川県災害ボランティアネットワークと当地の災害ボランティアネットワークの共催による合同防災訓練が同日に開催されている。

以上